

HOSEI UNIVERSITY GLOBAL EDUCATION PROGRAM

課題先進地・青森県八戸市から学ぶ 「外国人材が地域に定着する仕組み」 を考える実践型フィールドワーク



Rootwave株式会社 代表取締役 鈴木美朝

はちのへ なぜ今、八戸なのか？ 地方から日本、そして世界を捉える 5日間

農業、畜産業、水産業など一次産業の宝庫である青森県。首都圏で暮らす皆さんの食卓を支えています。

それだけでなく、米軍三沢基地や原子力関連施設も立地しており
安全保障やエネルギーといった日本を支える重要な役割を担う地域でもあります。

しかしその青森県は、人口減少率がワースト2位。

若い世代の多くが首都圏へ流出し、私たちの暮らしを支える一次産業・二次産業の現場では
外国人材なしには産業を維持することが難しくなりつつあります。

東京で暮らす私たちの生活を支える産業が地方にあり、その地方の産業を、海外から来た人たちが支えている。

これは、本当に「地方だけの問題」なのでしょうか。

日本全体、そして世界ともつながる問題ですが、東京ではその構造を実感する機会は多くありません。

これから世界で活躍していく法政大学の皆さんに「グローバルゼーションの中にある日本の地方」を見てほしい。

青森県八戸市をフィールドに企業を訪ね、外国人材と話し、地域で暮らす人の声を聞く。

ニュースやキャンパスの中だけでは見えない日本社会のリアルを見ることができます。

八戸を知ることから、日本を知る。日本を知ることから、世界を考える。そんな5日間のフィールドワークです。

プログラム概要

「外国人材が企業や地域に長く定着するには？」をテーマに
法政大学の学生・留学生4名がチームを組み、
事前学習と、現地での地域企業や外国人材へのヒアリングを通じて
課題の解像度を上げ、解決策を提言していきます。

【青森県八戸市について】

人口：約21.1万人

外国人住民：約2,000人（県内最多）

東北有数の港湾・工業都市

青森県南・岩手県北の経済圏の中心都市

【産業別就業者割合（概数）】

第1次産業（農林水産業）：約5%

第2次産業（製造業・建設業）：約27%

第3次産業（サービス・卸売・小売・医療・福祉等）：約68%

特に製造業の割合は全国平均より高い→外国人材受入が進む背景



参加メリット：グローバルに活躍するための力を養えます

変化の激しい時代における「グローバル人材」とは？

異なる価値観を持つ人々と協働し、
自ら主体的に課題を
解決できる人材

🔍 問いを立てる力

🗣️ 対話力・協調力

🚶 圧倒的な行動力

🛡️ 精神的レジリエンス



参加メリット：八戸でリアルな課題を体感することができます

世界で最も高齢化が進む日本 その最前線が地方

「世界の未来が、今まさに先に起きている場所」

- 日本の地方や社会問題への解像度があがる
- 異なる価値観に触れ、揺らぎを感じる
- 問題を自分事化し、解決のために行動できる
- 多角的な視点が身に付く



課題設定

THE CORE QUESTION

外国人材が
企業や地域社会に
長く定着するには？

「獲得・採用」から「定着・共生」へ

想定される仮説



言葉・コミュニケーション

実務以上の意思疎通。心の壁をどう乗り越えるか。



生活支援インフラ

生活、交通、役所手続き、家族帯同への適切なサポート体制。



地域交流と孤立防止

コミュニティの一員としての「居場所」をどう構築するか。



地域への愛着形成

一労働者としてではなく、「八戸を愛する住民」にする仕組み。

プログラムの流れ

法政大学の正規学生と留学生、それぞれ 2名程度、合計4名程度を募集します
プログラムへ協力して下さる企業 5-6社へ、ヒアリングと提案を行います

1

事前学習（オンライン）

顔合わせ
課題背景のインプット
など

2

八戸での調査

DAY1: 2/21(日)

午後集合、まちを知る

DAY2: 2/22(月)

ヒアリング

外国人住民との交流会

DAY3: 2/23(火)

前日の振り返り

ヒアリング

3

グループワーク

DAY4: 2/24(水)

詳細な課題設定と

解決策について

ディスカッション

プレゼン準備

4

公開プレゼン

DAY5: 2/25(木)

地元企業担当者や市長へ

解決策の提言

広く市民にも様子を公開

午後解散

※プログラム協力企業は現在調整中ですが、水産業、製造業など第1,2次産業が中心になる予定です

※DAY2の外国人住民との交流会は、協力企業に在籍する従業員の方が中心になる見込みです

※希望者は2/20(土)に前乗りすることで、八戸えんぶりと、2/21(日)の朝市を楽しむことができます！

宿泊場所：八戸ゲストハウストセノイエ

Rootwave株式会社が運営する、昭和の家屋をリノベーションした 1棟貸切宿です。洗濯や自炊も可能
タオル、歯ブラシ、シャンプー等アメニティ付き



プログラム中や前後で楽しめる、ノスタルジー香る八戸のまち





2/21(日) 朝市(冬季は屋内で開催)※前乗り必須



未来に...車に、



2/20(土) 八戸えんぶり ※前乗り必須

運営：Rootwave株式会社（青森県八戸市）

越境により自己を拡張する体験を

代表取締役

鈴木 美朝 (法政大学社会学部2019年卒業生)



青森県十和田市出身。法政大学在学中、イタリアでのインターンシップや米国への派遣留学を経験。卒業後、国際見本市主催会社で営業・企画業務を経て、2022年に八戸へJターン。ゲストハウス「トセノイエ」、喫茶「ヘバナ」を運営。地方とグローバルを滑らかに接続する場づくりを主導。CAMPFIRE公式パートナー。これまで世界24カ国・地域を旅した、温泉・サーフィン好き。

● プログラム開催にあたって一言

地域活性化に取り組みながらも世界とつながる生き方を体現しています。最近はいトレイルランニングでモンゴルとカザフスタンを走りました！

留学に行くか迷っている方、将来のやりたいことがわからない方、これから就職する方など、様々な方のご参加をお待ちしております。社会課題について知れるのはもちろん、地域の人や一緒に参加する学生同士と深く話すことで、自身のキャリア観や人生観が大きく変わる体験になること間違いなしです！！

A night scene of a Japanese festival, likely the Yamanote Festival in Kyoto. Snow is falling heavily over a shrine area. In the background, a traditional wooden shrine building is visible, illuminated by warm lights. A long wooden fence runs along the right side of the frame. In the center, a series of white lanterns are strung across the scene. The foreground is filled with snow-covered bushes and trees. The overall atmosphere is serene and festive.

LOCALから、GLOBALへ

「地方課題を学ぶこと」は、

「未来の世界を先取りすること」に他ならない ！

地域の中に身を置き、自ら深く問いを立て、答えなき世界へのアプローチ方法を習得していきます

一緒に日本、世界の未来を考えていきましょう！皆様のご参加を心よりお待ちしております！